



Lions Clubs International  
FOUNDATION



A Program of Lions  
Clubs International  
Foundation

## ライオンズクエスト(青少年のためのライフスキル・プログラム) クラブがスポンサーとして四大交付金申請を行うためのガイドライン

### 1. ライオンズクエストとは？

1984 年以來、各地の学校における青少年へのライフスキル教育を支援すべく、ライオンズはライオンズクエスト・プログラムをスポンサーしてきました。青少年（5～18 歳）が健全なライフスタイルを送り、薬物を回避し、前向きなセルフイメージを形成できるよう必要なスキルを教える学校用教育プログラム・シリーズです。そのプログラムを地域の学校に利用してもらい、青少年健全育成を行っていただくという事業です。30 カ国語に翻訳されている本プログラムの影響範囲は幅広く、現在 50 カ国以上で実施されています。

### 2. 事業者であるクラブ(スポンサークラブ)と管理者である地区の役割について

ライオンズクエストの事業を行うのは2つ以上のライオンズクラブで、申請を受けた地区ガバナーは管理者としての責任において、事業内容が適切に組み立てられているかをキャビネット  
で検討し、キャビネット会議にかけ承認を取ったうえで LCIF に申請します。

申請が LCIF で通れば、キャビネットの交付金管理のもと、クラブは事業を申請書の通りに行い、事業の進捗ごとに管理者であるキャビネットへ報告を行います。

事業終了時は、最終報告書をキャビネットに提出し、事業が申請書の通り行われたことを確認した地区ガバナーは、クラブ報告をもとに LCIF へ最終報告書を提出します。

【ライオンズクエスト事業の流れ／申請金額は 25,000 ドル】

#### 申請準備

2つ以上のライオンズクラブは事業のスポンサークラブとして、申請内容について事業内容とクラブ負担割合を決め、予算を決定します。

このとき大切なのは事業予算の **75%**は LCIF が交付金を出しますが、**25%**はスポンサークラブが用意します。スポンサークラブはそれぞれのクラブがどのように 25%分を用意するのか決めておかねばなりません。

2つ以上のクラブが共同で行うため、ここが大切なポイントです。



#### 仮申請

スポンサークラブは奉仕地域（取り組む学校）や予算を決め、申請内容が整えられたらキャビネットへ連絡し、申請書フォームに基づいて申請書を作成します。申請書の他にキャビネットへは別途、スポンサークラブが負担する 25%分の予算をどのように用意するのかを記載した誓約書を提出します。



#### 受理

ガバナーはスポンサークラブから申請書と誓約書の提出があったら、直近のキャビネット会議にかけて地区の承認をとり、申請書に署名をして LCIF へ申請を行います。



事業承認

LCIF では申請書の受理をしたら、やはり直近の国際理事会にかけ、そこで事業承認がおりれば、四大交付金を受けることができます。  
事業の承認については、管理者である地区ガバナーに通達されます。



事業開始

申請書の内容に基づき、スポンサークラブは事業を行います。  
ライオンズクエストの事業内容は主にセミナーとワークショップの開催ですが、それを行うごとにキャビネットへ日程や参加人数、それに関わる予算執行について連絡をとることが必要です。  
セミナーが終了したら、ワークショップが終了したらその都度、キャビネットへ報告を行います。



交付金請求

他の交付金と違うのは、4 半期ほどの期間において LCIF へ報告書をだし、総予算の **75%**分の交付金を受け取る形になることです。  
クラブは報告期間の事業内容をまとめてキャビネットへ提出し、キャビネットは内容を精査して、LCIF へ報告書を整え提出します。  
その報告を受けて LCIF は、キャビネットへ交付金を拠出します。  
つまり事業の進捗によって数回に分けて交付金がおりてきて、クラブ負担分と合わせて講師の講師料や資料代、会場費として支払いをするわけです。  
ここで間違ってはいけないのは、**LCIF の交付金 75%とクラブ負担 25%の予算はすべて事業で消化され、クラブ負担がもどることはありません。**



事業終了

交付金請求を行いながら、実行予算にもよりますが2年ほどの期間内に事業を完了させます。スポンサークラブは最終報告内容を整え、キャビネットへ提出し、キャビネットはそれを精査し、LCIF への最終報告をします。

3. スポンサークラブが準備する **25%**について

LCIF の交付基準にあるように再申請の場合は、申請ごとに **25%**よりも多く準備資金を求められておりますので、スポンサークラブもそのように心得て準備してください。

この交付金については、「クエスト拡大事業」に対して交付されておりますので、再申請は可能ですが、当然、取り組みが始まる事業についての交付が主要となります。

簡単に言えば、スポンサークラブがクラブアクティビティとして独立採算に近い形でやっていけるようにというクラブ支援のための交付金であることをご理解ください。

4. 事業内容についてのお問い合わせ、申請にかかわる事項・申請書フォームについてはキャビネット事務局までご連絡ください。

地区の特別委員会がスポンサーするライオンズクエスト、クラブがスポンサーするライオンズクエストとそれぞれ実情は異なりますが、全国各地区はいろいろな体制で資金集めをして「青少年教育の充実」に取り組んでいます。交付金事業はクラブの持つ力が安定していないとできない事業でもあり、チャレンジしてみたいはかがでしょうか。